

2025年度事業報告

一般社団法人日本建築協会
2025年度事業報告
(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

2025年度の日本建築協会は、会員各位に向けた様々な企画・催事を進める中で、「大阪・関西万博」を随所に取り込み、その時代性・地域性を存分に発揮して、積極的に活動した。

協会誌・建築と社会の年間テーマを「未来」と定め、「建築を通じ広く社会に貢献する」という協会設立の趣意のもと、多様な論考を各号に収め、展開した。万博閉幕後においても、国際イベントとして記録に残すという実績とともに、その知見を未来につなぐ、意義深い活動になったと考える。

他にも、出版（協会誌「建築と社会」はもとより、協会企画による書籍）・事業（見学会、講演会、新入会員ガイダンス）・講習（施工計画及び仮設見積の実務講習会）・顕彰（青年技術者顕彰、工高生デザインコンクール、片岡安賞）等、協会の常設委員会を中心に様々な活動に意欲的に取り組んだ。また懸案であった「建築と社会賞」およびシリーズ寄稿「建築と社会を考える」を再開したことは協会にとって大きな意義を持つ。

「建築と社会賞」は、協会誌『建築と社会』の趣旨にふさわしい、社会性や環境などに配慮した建築プロジェクト、及び建築に関わる論文・記事などを顕彰するもので、2001年に創設、2020年まで18回にわたり実施してきたが、その後のコロナ禍により、やむを得ず一時中断となっていた。来年2027年度に、日本建築協会創立110周年を迎えることから、再開の運びとなった。

シリーズ寄稿「建築と社会を考える」は今後年3～4回程度、幅広いテーマで様々な執筆者に寄稿していただくもので、協会のホームページにも掲載し、会員ではない一般の方々にも一読いただけるようにすることで、社会に向けた発信を実現している。

一方で、これら委員会及び委員各位の奮闘努力にもかかわらず、個人会員の高年齢化や団体会員の口数低減傾向等の要因により、単年度で会員数はプラス1（口数は前年を維持）となった。

協会内では、京都・中国・東海の3支部、ならびに首都圏在住の会員各位と本部との交流の強化に努めた。

特に首都圏在住の会員同士の交流を深めるイベント「会員の集いIN TOKYO」を一昨年に続いて開催、文化遺産の保存再生の第一線で活躍される田原幸夫氏をお招きし、講演を行うとともに、懇親会を実施し、好評を博した。

また、本部ワークスペースは、リニューアル後、各委員会定例会議をはじめ、座談会、協議会、そして、藤本壮介氏インタビュー（建築と社会2026年2月号所収）会場にも使用した。室内整備も徐々に進み、会員各位のプラットフォームとしてのさらなる活用を期待している。

2025年度決算については、「大阪・関西万博」が開催されたことにより、協会誌「建築と社会」へのプロジェクト掲載数が増え、会誌収益が増加となったこと、契約約款の改定特需により販売収益が大幅に増加となったこと等により、経常収益が前年度比 505万円の増加となった。一方、協会誌の発行費の増加、諸物価高騰の影響等で、経常費用は前年度比 274万円の増加となった。結果、正味財産期末残高は、185万円の増となった。

【本 部】

◎役員会等の開催状況

1. 総会、理事会、評議員会、常任理事会

区分	開催月日	議題等
定時総会	6月20日(金)	①2024年度事業報告・決算報告 ②2025年度事業計画・収支予算 ③役員候補者選任
第1回 通常理事会	6月5日(木)	①2024年度事業報告・決算報告 ②2025年度事業計画・収支予算 ③役員候補者選任 ④評議員委嘱
第2回 通常理事会	11月13日(木)	①役付役員等の選任について ②常任理事の委嘱について ③2025年度上半期事業執行状況について ④理事・監事の要件について
第1回 臨時理事会	5月26日(月) (書面決議)	①評議員委嘱
第2回 臨時理事会	6月20日(金)	①役付役員選任 ②常任理事、常設委員長委嘱 ③理事の会務分掌
定時評議員会	6月5日(木)	①副議長互選 ②役員候補者推薦
第1回 常任理事会	4月23日(水)	①「建築と社会を考える」の再開 ②「建築と社会賞」 ③「ケンテン」の講演者 ④委員会別予算(案) ⑤理事、評議員の資格
第2回 常任理事会	5月21日(水)	①2024年度事業報告(案) ②2024年度決算報告(案) ③2025年度事業計画(案) ④2025年度収支予算(案) ⑤「建築と社会を考える」 ⑥「建築と社会賞」、「ケンテン」の講演者 ⑦WEB改修(検索の精度アップ改修) ⑧会長印を押す文章の取り扱い
第3回 常任理事会	7月23日(水)	①評議員と監事の要件 ②都市景観建築賞の幹事交代 ③出版委員会 ④「建築と社会賞」

区分	開催月日	議題等
第4回 常任理事会	9月17日(水)	①「建築と社会賞」 ②「建築と社会を考える」 ③「会員の集いIN東京」の検討 ④「建築と社会」誌掲載記事の著作権 ⑤理事の分掌 ⑥「都市景観建築賞」の幹事交代 ⑦「あつまれけんちく女子」
第5回 常任理事会	10月22日(水)	①上期事業執行状況(案)について ②役付役員等の選任について ③「建築と社会賞」について ④「建築と社会を考える」について ⑤「会員の集いIN東京」の実施について ⑥協会誌特集年間テーマについて ⑦「建築と社会」誌掲載記事の著作権について ⑧大阪都市景観建築賞 幹事の交代について
第6回 常任理事会	1月21日(水)	①未収対応について ②「建築と社会賞」について ③2026年度の新入会員ガイダンス開催時期について ④総会講演会における講演者候補について
第7回 常任理事会	2月25日(水)	①「建築と社会賞」の実施要項について ②「建築と社会を考える」の執筆者候補について ③「青年技術者表彰」の対象分野について ④「総会后講演会」の講演者について ⑤「理事の所掌」について
第8回 常任理事会	3月25日(水)	①役員候補者の確認 ②協会活動の周知について ③「建築と社会賞」実施について ④理事の所掌について ⑤110周年記念イベントへの取り組み方について
会長・副会長 ・常任理事・ 支部長会議	11月13日(木)	①2025年度上半期事業執行状況(3支部より) ②意見交換

2. その他

区分	開催月日	内容
新入会員 ガイダンス	4月23日(水)	①協会・委員会活動についての説明会 ②懇親会
会員の集い IN TOKYO	2月27日(金)	①講演会(2025年度事業報告・9ページ参照) ②会員交流懇親会

3. 常設委員会

協会の事業を円滑に遂行するため、6つの常設委員会を設置している。

(1) 編集企画委員会

協会誌「建築と社会」の企画・編集のため、編集企画委員会を設置し、2つの小委員会（特集、ひと・まち・建築）で構成している。さらに特集小委員会は7つの分科会（計画、建築デザイン、空間デザイン、構造、環境、施工材料、法令）に分かれている。

当期は、編集企画委員会を12回、特集小委員会（分科会を含む）を64回、ひと・まち・建築小委員会を12回開催した。

会誌収支は、大阪・関西万博の開催にともないproject頁に万博パビリオンを掲載し、2021年度から徐々に回復基調であった傾向保持にさらに貢献した。2019年度以降、様々な対策を起案する組織を編成し、協会誌のあり方や魅力付け、さらには編集企画委員会のあり方という根源的な側面にも及ぶ検討を重ねてきた成果でもあり、冒頭に記した活性化策をはじめとして、引続き改善策を模索しながら収支改善に継続的に取り組むものである。

時代の流れに沿った記事を掲載し、さらなる協会誌の魅力度アップを図ることやWEB配信の検討などは引続き実施すべき重要な課題である。その中で2025年度には連載「建築と社会を考える」を復活させ当協会のホームページにも紙面を掲載することで一般読者の目に触れる機会を増やし、新規読者の獲得に寄与した。情報の質・量を高めて執筆者及び読者ともにメリットのある改変に努めた。

(2) 事業委員会

見学会・講演会・交流会の開催、他団体との連携を行うことを目的に、情報見学小委員会とCCCフォーラムとで構成している。

情報見学小委員会は、委員会を7回開催し、6月に「立命館大学茨木キャンパスH棟見学会」、11月に「YODOYABASHI Station One 見学会」、12月に「第38回『茶室』見学会（大徳寺 三玄院「篁庵」）」と見学会を3回開催した。

また、史料研究会と協力してイケフェス大阪2025に参画し、「日本建築協会 Presents！ 大大阪100年、中之島中央部を歩く」を10月25日に開催した。

CCCフォーラムは、委員会を12回開催した。新たな取り組みとして4月・9月若手技術者フォーラムを開催し、6月に第10回、1月には第11回となる青年技術者交流会を開催した。

(3) 出版委員会

今期6月に新委員長が就任した。

建築に関する図書の企画・編集・刊行を行うため、当期は委員会を11回開催した。

建築セミナーは、4月と5月に2回開催し、9月に外装材の耐風設計・施工に関する書籍を出版し、委員会としては通算167冊の発行となった。

1月には、各小委員会委員長に出席を呼びかけて、「日本建築協会の出版」に関する座談会を開催した。

(4) 教育委員会

工高生教育小委員会は、工高生の設計技能向上と奨励のため、1955年創設以来、毎年テーマを変えて実施しており、今年度は第72回であった。

史料研究会は5回開催され、会誌の連載記事「再読 関西の建築」で取上げる建築・論考を選出するとともに、インタビュー「先達に聞く」を企画した。

また、大阪府や建築4団体で構成する「大阪府住まい・まちづくり教育普及協議会」にも引き続き協力した。

(5) 未来創生プロジェクト

様々な活動を通じて、建築と社会の未来を探り、創り、育てるとともに人材の発掘・育成を目的に、建築次世代委員会、2040委員会、U-35委員会の3つの委員会で構成している。

建築次世代委員会は、建築と社会を担う人材育成に資する活動を創造するため、10回開催した。学生のための現場見学会を3回実施し、有志学生との意見交換会を開催した。

2040委員会は、日本建築協会が百年にわたり築いてきた歴史の上に、「次世代（Next Generation）」の想いを集結させ、「次代（Next Era）」が創造的で魅力的なものとなるべく、これからの「建築と社会」のあるべき姿を思考（志向、試行）することを目的に委員会を12回開催した。

2025年開催の大阪・関西万博の視察を実施し、万博を通じてメンバーが感じた未来社会について議論し、メンバーズフォーラムの記事を作成した。

U-35委員会は、若手会員の増強と協会活動の活性化を目指し11回開催した。

委員相互の勉強会として「talk baton」を1回実施した。

各メーカーとの協創WS「建築と集合知」や、U-35委員会の展覧会の開催を行い、協会やU-35委員会の認知度向上に貢献した。

茨木市の社会実験（2023年度）で使用した「ノマドギ」を一部再利用し循環させることで、協会のイメージ向上に貢献した。

- ・ 第6回グリーンインフラ大賞「優秀賞」 2026年 1月28日付
- ・ 日本空間デザイン賞「ヤングタレント賞」 2025年11月21日付
- ・ 日本空間デザイン賞「LONG LIST」 2025年11月21日付
- ・ 日本造園学会賞「事業・マネジメント部門」 2026年 4月21日付※

（※日付は情報開示日）

(6) 講習会委員会

昨期に常設委員会となり、委員会は5回開催した。

講習会では、「施工計画」と「積算・仮設見積」を2日間開催に変更して参加者が増加した。当期はテキストの刷新を行い、1月20日(火)・1月27日(火)にそれぞれ開催した。多くの参加者の意見を反映し、手元にも残る資料としてPPT資料の配付を実施した。

4. 特別委員会

協会の顕彰事業を円滑に遂行するため、4つの特別委員会を設置している。

(1) 青年技術者選考委員会

設計・計画、構造、設備、施工など建築に関連する分野から満35歳以下の青年技術者を顕彰するため、選考委員会を5月14日(水)に開催した。

(2) 工高生デザインコンクール審査委員会

工高生デザインコンクールは、工高生の設計技能向上のため、1955(昭和30)年創立以来毎年実施してきた。10月18日(土)に審査会、11月15日(土)に表彰式を開催した。

(3) 「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール審査委員会

100周年記念事業のテーマである「新しい地平へ」を実現するため、論考の発表の場を提供する「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールの応募作品を審査し、表彰している。当期は3回開催した。

1月19日(月)に審査委員会を開催し一次審査通過者3名を選出した。

またオンラインによる公開プレゼンテーションと最終審査を3月20日(金)に実施し、片岡安賞1名、佳作2名を決定した。

(4) 「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール実行委員会

論考コンクールのテーマ案策定、審査委員選任、公開プレゼンテーションの運営などを行なう独立した組織である。

当期は4回開催した。第10回のテーマ案を検討すると共に、第10回以降の新審査委員の候補者を選定した。

◎事業の執行状況

1. 「建築と社会」誌の発行

「建築と社会」誌は、1917（大正6）年の創立以来協会活動の中核として、会員相互あるいは会員と社会を結ぶ役割を果たしている。毎月発行し会員の手元に届けている。2026年3月号で通巻1248号を数える。

発行月	特集内容	特集以外の主な内容
4月号	2025年に描く未来像	●project ●gallery ●法令コーナー ●構造・設備の頁 ●再読 関西の建築 ●Member's Forum ●information
5月号	企業ミュージアムは未来を拓く窓	
6月号	片岡安賞 第8回 日本建築協会論考コンクール 募集テーマ：建築X	
7月号	第72回 青年技術者	
8月号	いのち つづく みらい	
9月号	後世へつなぐまちづくり	
10月号	未来のものづくり	
11月号	未来は明るい構造設計	
12月号	新しい足音が聞こえる—想像した未来、創造する未来—	
1月号	「EXP02025年は何を拓くのか」 —2025年大阪・関西万博を終えて	
2月号	第32回 会員作品”私の空間作法”	
3月号	東海支部特集	

2. 講演会の開催

話題の建築物や構造物、都市問題など様々なジャンルを対象にエピソードや苦労話、ノウハウなどを聞く講演会を毎年開催している。

定時総会

開催月日	タイトル等	講師	参加者
6月20日(金)	いのち輝く未来都市のデザイン 2025年から始まる 大阪・関西の将来ビジョン	橋爪 紳也 大阪公立大学 研究推進機構特別教授 観光産業戦略研究所所長	80名

関東圏で当協会に入会、または入会后同圏に移動した会員について、協会の様々な活動を通じての横断的な交流の機会が少ない状況を鑑み、2019年に「会員の集いIN TOKYO」を開催。2024年に5年ぶりに開催し、2025年度も継続して開催した。

会員の集いIN TOKYO 2025

開催月日	タイトル等	講師	参加者
2月27日(金)	文化遺産の保存再生と建築家	田原 幸夫 ヘリテイジ・デザイン・アソシエイツ 代表	44名

出版委員会主催分

開催月日	タイトル等	講師等	参加者
4月18日(金)	第7回 建築セミナー	高森 洋(WASC基礎地盤研究所)	52名
5月15日(木)	第8回 建築セミナー	春山 浩司(家のちえ)	13名

CCCフォーラム主催分

開催月日	タイトル等	講師等	参加者
4月18日(金)	第1回 若手技術者フォーラム	滝澤 創也(日建設計) 河西 孝平(大林組)	41名
9月19日(金)	第2回 若手技術者フォーラム	石原 嘉人(日建設計) 白井 尚太郎(日建設計) 中谷 真(大林組) 萩尾 涼太(大建設計)	32名
6月27日(金)	第10回 青年技術者交流会	立松 裕規(東畑建築事務所) 大河 肇(日建設計) 安田 翔太(清水建設) 藤井 嵩広(竹中工務店)	19名
1月30日(金)	第11回 青年技術者交流会	粉川 壮一郎(安井建築設計事務所) 武内 大輝(東畑建築事務所) 成瀬 壮太(大建設計) 桜本 佳季(大林組)	21名

3. 見学会の実施

著名建築物や近代建築などの見学会を毎年実施している。当期は5回開催した。

建築次世代委員会で、学生のための見学会「株式会社村田製作所守山イノベーションセンターPJT」「株式会社東畑建築事務所大阪草煙舎建替計画工事見学会」「新・琵琶湖文化館(博物館)現場見学会」を行った。

情報見学小委員会で、「立命館大学茨木キャンパスH棟」「YODOYABASHI Station One」「第37回『茶室』見学会」大徳寺 三玄院「篁庵」を開催した。

建築次世代委員会主催分

開催月日	企画名等	講師	参加者
10月28日(火)	第9回学生のための見学会 株式会社村田製作所 守山イノベーションセンターPJT	遠藤 智昭(竹中工務店) 井本 真人(竹中工務店)	16名
12月17日(水)	第10回学生のための見学会 株式会社東畑建築事務所 大阪草煙舎建替計画工事見学会	平野 尉仁(東畑建築事務所) 広瀬 和也(東畑建築事務所) 西辻 帆波(東畑建築事務所)	10名
12月17日(水)	第11回学生のための見学会 新・琵琶湖文化館(博物館)現場 見学会(第1回/全2回)	松村 明(安井建築設計事務所) 小原 英幸(大林組)	13名
5月29日(木)	学生との意見交換会 建築を学ぶ学生の本音。 学生が求める「リアルな学び」とは?	有志学生	6名

情報見学小委員会主催分

開催月日	企画名等	講師	参加者
6月27日(金)	立命館大学茨城キャンパスH棟見学会	堀良 平(竹中工務店)	36名
1月27日(木)	YODOYABASHI Station One 見学会	岩崎 宏(竹中工務店) 井ノ口 洪太(竹中工務店)	33名
12月6日(土)	第38回「『茶室』見学会」 大徳寺 三玄院「篁庵」	長谷川 大眞(三玄院 和尚) 桐浴 邦夫(京都建築専門学校)	30名

4. 講習会委員会主催 建築工事实務講習会の開催

1957(昭和32)年以降、毎年主として中堅以下の建築技術者を対象に標記講習会を実施している。当期はテキストの刷新を行い、1月20日(火)・1月27日(火)に講習会を開催した。

開催月日	講習内容	講師	参加者
1月20日(火)	施工計画	浦瀬 誠(竹中工務店) 伊藤 維俊(清水建設)	74名
1月27日(火)	積算・仮設見積	鄭 泰允(大林組)	48名

5. 顕彰事業の実施

(1) 青年技術者の顕彰

1954(昭和29)年度から毎年実施している。2025年度・第72回は42名を顕彰した。

部門	受賞者
設計・計画 17名	阿部 敬一、石塚 昌子、今枝 龍哉、上間 鉄平、大野 晴臣、角谷 卓哉、 北森 誠人、粉川 壮一郎、坂口 文彦、杉森 大起、丹地 勇詞、夏目 寛、 成瀬 壮太、花岡 光、馬場 あさひ、藤井 千裕、町山 玉魚
インテリア 設計 1名	中西 美晴
構造 8名	井上 桂輔、高本 幹人、武内 大輝、田中 陽之、西田 哲朗、弘中 敏之、 三富 遼太、吉村 純哉
設備 9名	石田 修平、北川 大輔、五明 遼平、杉山 裕幸、根本 泰明、福島 功二、 福永 貴大、藤浪 大輔、松本 若菜
施工 7名	足立 桜、岩崎 佳祐、木田 哲也、小西 翔太、桜本 佳季、武田 和真、 谷川 基樹

(2) 優秀卒業生の表彰

優秀な建築系学科の卒業生を表彰することにより、研鑽意欲の向上を促し、激励するため1952（昭和27）年から実施している。

当期は下半期に、高等学校、工業高等学校、高等専門学校、専門学校を対象に、24校45名に実施した。

6. コンクールの実施

(1) 工高生デザインコンクールの実施

当期で71回を数える。「まちなかのアートスペース」を設計課題に募集を行い、16校より118点の応募があった。10月18日（土）に審査会、11月15日（土）に表彰式を行った。

開催月日	賞	入選者	学校名	学年
11月15日（土）	最優秀賞	奥田 心実	三重県立四日市工業高等学校	1年
		西村 まうる		
	優秀賞	桐原 優奈	三重県立伊勢工業高等学校	2年
		徳平 茅秀	兵庫県立兵庫工業高等学校（全日制）	2年
		中山 嵩規	兵庫県立神戸工業高等学校（定時制）	4年
11月15日（土）	入選	安田 彩央依	兵庫県立兵庫工業高等学校（全日制）	2年
		安藤 結人	滋賀県立彦根工業高等学校	3年
		尾崎 希美	大阪府立工芸高等学校	3年
		小野 桃佳	群馬県立高崎工業高等学校	2年
		川口 千代	国立明石工業高等専門学校	2年
	越川 桜羽	大分県立大分工業高等学校	3年	

開催月日	賞	入選者	学校名	学年
11月15日(土)	入選	藤本 愛己	大阪府立工芸高等学校	3年
		吉田 万智	大阪府立工芸高等学校	3年

(2) 第9回「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールの実施

「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールは、創立100周年を迎えたのを機に、本会の歴史を見つめ直し、「建築と社会」誌がさらに優れた論考の受け皿となり、建築界全体にとって有益な媒体となることを目的に上げた。

当期は「100」をテーマに募集し、応募のあった論考21作品を審査した結果、「片岡安賞」1名、佳作2名を選定した。

開催月日	賞	入選者	論考タイトル
3月20日(金)	片岡安賞	小泉 満里奈	100の外側で生きる —都市の余白とインフォーマルな時間—
		八巻 孝之	「100」をめぐる建築の哲学 — 医師から居住者となった私の視点
	佳作	白木 美由紀	2045 虚構から感じる幸福な空間

7. 出版物の刊行

時代のニーズに即した新しい著書の発掘を第一とし、建築に関する図書を企画・編集・刊行しており、1949（昭和24）年以来多くの図書を出版してきた。「建築技術選書」と「プロのノウハウ」シリーズはその代表である。

当期は、9月に「イラストと計算例でわかる外装材の耐風設計・施工」を出版した。

「現場写真でわかる木造住宅工事の納まり」は、4月に第2刷、12月に第3刷を増刷し、11月には「建築現場のコンクリート技術」の増刷も行った。

8. 関西建築4団体(大阪府建築士会、大阪府建築士事務所協会、日本建築家協会近畿支部、日本建築協会)連携

(1) 在阪建築4団体連携

今年度は「在阪建築関係4団体会長支部長会議」を3回開催し、活発な情報交換、意見交換を行った。

また、在阪建築関係4団体と大阪府において「省エネ住宅・建築物の普及啓発の協力に関する協定」を締結し「断熱性能理解向上のための可視化シミュレーションツール」及び「ZEB事例集」の作成を行った。

(2) イケフェス大阪等との連携

「イケフェス大阪」など建築関係団体以外の団体との連携事業も引続き取組んだ。10月25日(土)・26日(日)に開催されたイケフェス大阪で、10月26日にスペシャルツアー「日本建築協会 Presents! 大大阪100年、中之島中央部を歩く」を実施した。公式ガイドブックを販売するなど連携している。

事業委員会・史料研究会（教育委員会）所管

開催月日	催事名	主要協力者	参加者
10月25日(土)	日本建築協会Presents! 大大阪100年、 中之島中央部を歩く (生きた建築ミュージアム フェスティバル大阪2025 連携事業)	指田孝太郎(日建設計)《挨拶》 橋寺知子(関西大学准教授) 阿部文和(大阪歴史博物館学芸員) 玉田浩之(滋賀大学准教授) 中尾勝悦(中尾総合建築設計事務所) 奥村朋孝(奥村組)	37名

9. 共催、後援、協賛、協力事業

協会の事業主旨に合致する事業に共催、後援、協賛した。

(1) 共催

開催月日等	事業名	主催者
7月1日(火) ～31日(木)	第44回大阪都市景観建築賞 (愛称：大阪まちなみ賞) 作品募集	大阪府、大阪市、 (公社)大阪府建築士会、(一社)大阪府建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会近畿支部大阪地域会、
10月20日(月)	審査委員会	(一社)日本建築協会
1月26日(月)	表彰式	
3月14日(金)	あつまれ！けんちく女子	(一社)大阪府建築士事務所協会 共催：(公社)日本建築家協会近畿支部、(公社)大阪府建築士会、(一社)日本建築学会近畿支部、(一社)日本建築協会

(2) 後援

開催月日等	事業名	主催者
3月27日(木) ～10月31日(金)	夢のおうち絵画コンクール	エー・ビー・シー開発(株)
4月7日(月)	第63回関西建設人ゴルフ大会	日刊建設通信新聞社関西支社

開催月日等	事業名	主催者
4月14日(月)	IIS/IIK 堺新事務所 建築デザイン講習会	(公社)大阪府建築士会
4月23日(水)	特定建築物定期調査業務 「スキルアップ講習」 ～調査業務基準2025年改訂版の 改訂ポイントも解説します～	(一社)大阪府建築士事務所協会
5月10日(土)	イベント「これからの暮らしを考える」	(一社)大阪府建築士事務所協会
5月10日(土)	坂茂特別講演会	(一社)大阪府建築士事務所協会
5月27日(火)	講習会「集会施設等における避難安全の バリアフリーデザインの手引き」	(一社)日本建築学会 防火委員会
6月12日(木)	確認申請の構造図書作成講座	(一社)近畿建築検査協会
6月23日(月)	ウクライナの建築と文化を学ぶ	(公社)大阪府建築士会 (一社)大阪府建築士事務所協会
6月27日(金)	岩谷産業神戸研修所 見学会+説明会	(公社)大阪府建築士会
7月10日(木)	建築基準法第12条関係 防火設備定期 検査業務基準講習(2025年改訂版)	(一社)大阪府建築士事務所協会 (一社)日本建築士事務所協会連合会
8月25日(月)	デジタルツイン×メタバース×AIで 切り開く地方創生手法の今	(公社)大阪府建築士会
9月9日(火) ～15日(月)	建築学生ワークショップ 日本国際博覧会2025	(特非)アートアンドアーキテクト フェスタ
10月1日(水) ～12月26日(金)	【WEB版】確認申請の構造図書作成講座	(一社)近畿建築検査協会
10月17日(金) ～27日(月)	Under 35 Architects exhibition 2025	(特非)アートアンドアーキテクト フェスタ
10月26日(日)	なにわ建築フェスタ2025	(一社)大阪府建築士事務所協会
10月26日(日)	坂村健特別講演会	(一社)大阪府建築士事務所協会
11月21日(金)	第25回 司法支援建築会議講演会 「建築紛争の現状と課題(その7)―大阪 地方裁判所における建築裁判から―」	(一社)日本建築学会近畿支部 (一社)日本建築学会司法支援建築 会議
11月30日(日)	人・まち・建築アイデアコンペ	(一社)大阪府建築士事務所協会
12月3日(水)	環境にやさしい建築シンポジウム ～これからの建物に求められるもの～	大阪府

開催月日等	事業名	主催者
1月19日(月) ～25日(日)	『坂倉建築研究所大阪事務所と 太田隆信展』	(特非) 建築文化継承機構
2月4日(水)	開設者・管理建築士のための 建築士事務所の管理研修会	(一社) 大阪府建築士事務所協会 (一社) 日本建築士事務所協会連合会
2月9日(月) ～3月31日(火)	【WEB版】 確認申請の構造図書作成講座	(一社) 近畿建築検査協会
2月27日(金) ～3月1日(日)	修成建設専門学校 卒業展2026	学校法人 修成学園 修成建設専門学校
3月6日(金)	脱炭素社会に向けてー建築計画最前線ー	(公社) 大阪府建築士会
3月6日(金)	再使用の可能性を判定し、復旧するための 震災建築物の被災度区分判定基準および 復旧技術指針講習(全構造編・会場 (動画)(講習)	(一社) 大阪府建築士事務所協会 (一社) 日本建築士事務所協会連合会
3月19日(木)	高槻城公園芸術文化劇場 見学会	(公社) 大阪府建築士会
3月23日(月)	ウクライナの建築と文化を学ぶ	(公社) 大阪府建築士会 (一社) 大阪府建築士事務所協会

(3) 協賛

開催月日等	事業名	主催者
9月8日(月) 応募開始	第35回「あすなろ夢建築」 大阪府公共建築設計コンクール	大阪府、(公社) 大阪府建築士会 大阪府住宅供給公社
10月25日(土) ～26日(日)	生きた建築ミュージアムフェスティバル 大阪(イケフェス大阪) 2025	(一社) 生きた建築ミュージアム大阪
11月19日(水) ～21日(金)	Japan Home Show & Building Show 2025	(一社) 日本能率協会
3月3日(火) ～6日(金)	建築・建材展 2026(第32回)	日本経済新聞社

(4) 特別協力

開催月日等	事業名	主催者
7月10日(木) ～11日(金)	建築・建材展大阪2025	(一社) 日本建築材料協会 日本経済新聞社、テレビ大阪

10. 工事請負契約約款事業

民間(七会)連合協定工事請負契約約款委員会に2名の委員を派遣した。

引き続き

「民間(七会)連合協定工事請負契約約款契約書関係書式」

「民間(七会)連合協定小規模建築物・設計施工一括用工事請負契約書類(書式・約款)」

「民間(七会)連合協定リフォーム工事請負契約書類(書式・約款)」

「民間(七会)連合協定マンション修繕工事請負契約約款契約書関係書式」

の販売を行うとともに、約款委員会が発行する4つの約款・書式の説明用パンフレットを販売窓口等で配布し、約款の周知、啓発に努めた。

11. 役員派遣

大阪商工会議所に2号議員として役員1名を派遣した。

(一財)大阪建築防災センターに監事として役員1名を派遣した。

(一財)日本建築総合試験所に非常勤理事として役員1名を派遣した。

【京都支部】

◎役員会等の開催状況

1. 総会、役員会、常議員会

区分	開催月日	議題等
定時総会	6月11日(木)	①2024年度事業報告・収支決算報告 ②2025年度事業計画・収支予算計画 ③その他
会計等監査	5月31日(土)	①会計等監査
第1回 常議員会	4月9日(水)	①近現代建造物調査について ②見学会・セミナーについて ③京都支部総会について ④その他
第2回 常議員会	6月11日(木)	①支部設立80周年記念事業について ②近現代建造物調査について ③見学会・セミナー計画について ④その他
第3回 常議員会	8月22日(金)	①近現代建造物調査について ②見学会・セミナー計画について ③80周年記念事業について ④京都支部の事務機能について ⑤その他
第4回 常議員会	10月24日(金)	①近現代建築調査について ②80周年記念事業について ③セミナー・見学会について ④その他
第5回 常議員会	12月18日(木)	①近現代建築調査について ②セミナー・見学会について ③来年度の事業計画 ④その他
第6回 常議員会	2月13日(金)	①近現代建築調査について ②セミナー・見学会について ③支部設立80周年記念事業について ④来年度の事業計画 ⑤その他

◎事業の執行状況報告

1. 講演会、見学会、勉強会の実施

11月30日(日)に近現代建築調査の成果として、建築家・沖種郎の作品と生い立ちに関するシンポジウムを開催、あわせて沖種郎設計、京都市動物園類人猿舎の見学会を行った。

京都府北部での近現代建築調査を行った。これらの成果については当該年度の『建築と社会』誌10月号と11月号に掲載した。

見学会・セミナーについては、今年度は準備期間として日吉ヶ丘高校校舎（堀口捨己設計）、對龍山荘、松花堂などの見学について協議し、所有者との調整を行った。

近現代調査の一環として、京都を地場して京都ならではの建築活動を行ってきた職方、工務店の記録作成を継続して行った。今年度は昨年度から継続して熊倉工務店へのインタビューと関連建築の見学会について協議し、関係者と調整を行った。

2. その他

2027年に京都支部設立80周年を迎えるにあたって、記念事業を実施することとし、支部長を中心に具体的な事業計画を立案し、活動を始めた。

【中国支部】

◎役員会等の開催状況

1. 総会、役員会、常議員会

区分	開催月日	議題等
支部総会	7月4日(金)	①令和6年度事業報告 ②令和6年度収支決算報告及び監査報告 ③令和7年度事業計画 ④令和7年度収支予算 ⑤役員改選 ⑥建築施工技術研究委員会活動報告
第1回 常議員会 幹事会	5月19日(月)	①令和6年度実務講習会収支について ②講習会年間スケジュールについて ③令和7年度若手・新入社員技術講習会について ④新役員について
第2回 常議員会 幹事会	6月11日(水)	①令和7年度定時総会について
第3回 常議員会 幹事会	9月8日(月)	①令和7年度若手・新入社員講習会収支について ②令和7年度中堅社員技術講習会について
第4回 常議員会 幹事会	12月11日(木)	①令和7年度中堅社員技術講習会収支について ②令和7年度実務講習会について

◎事業の執行状況報告

1. 技術講習会の開催

7月9日(水)に『令和7年度若手・新入社員技術講習会』を開催した。

11月18日(火)に『令和7年度中堅社員技術講習会』を開催した。

2. 実務講習会の開催

2月17日(火)に『令和7年度実務講習会』を開催した。

【東海支部】

◎役員会等の開催状況

1. 総会、役員会、常議員会

区分	開催月日	議題等
定時総会	5月29日(木)	①2024年度事業報告・収支決算報告 ②2025年度事業計画・収支予算計画 ③支部役員改選
第1回 常議員会 幹事会	4月23日(水)	①2025年度定時総会、講演会 ②2024年度事業報告と2025年度事業計画 ③2024年度収支決算報告と2025年度収支予算計画 ④2025年度支部役員・委員会構成 ⑤各常置委員会活動報告
第2回 常議員会 幹事会	6月23日(月)	①2025年度定時総会収支 ②2025年度常置委員会構成 ③本年度役員会日程 ④各常置委員会活動報告
第3回 常議員会 幹事会	7月29日(火)	①「東海の建築」の発刊について ②8/27青年技術者交流会開催について ③見学会(65周年事業)企画について ④2026年3月号「建築と社会」東海支部特集号記事企画 ⑤各常置委員会活動報告
第4回 常議員会 幹事会	9月24日(水)	①「東海の建築」の発刊について ②上半期事業報告書(本部提出)内容確認 ③65周年事業企画検討 ④2026年3月号「建築と社会」東海支部特集号記事企画 ⑤各常置委員会活動報告
第5回 常議員会 幹事会	10月28日(火)	①「東海の建築」の発刊について ②65周年事業企画検討 ③2026年3月号「建築と社会」東海支部特集号記事企画 ④各常置委員会活動報告
第6回 常議員会 幹事会	11月25日(火)	①「東海の建築」の発刊について ②2026年3月号「建築と社会」東海支部特集号記事企画 ③各常置委員会活動報告
第7回 常議員会 幹事会	12月23日(火)	①65周年事業企画検討 ②2026年3月号「建築と社会」東海支部特集号記事企画 ③各常置委員会活動報告
第8回 常議員会 幹事会	1月27日(水)	①65周年事業企画検討 ②2026年3月号「建築と社会」東海支部特集号記事企画 ③実務講習会報告 ④本年度決算見込みと次年度予算初案について ⑤見学会の開催について ⑥各常置委員会活動報告

区分	開催月日	議題等
第9回 常議員会 幹事会	2月24日(火)	①65周年事業企画検討 ②本年度決算見込みと次年度予算初案について ③次年度海外視察について ④各常置委員会活動報告
第10回 常議員会 幹事会	3月24日(火)	①本年度決算見込みと次年度予算初案について ②次年度役員・委員会構成 ③次年度総会準備について ④次年度海外視察について ⑤各常置委員会活動報告

2. 常置委員会の開催

総務、編集、広報、事業、研修、青年の6委員会を設置し支部運営を行っている。

(1) 総務委員会

支部定時総会準備、年度決算及び次年度予算作成並びに委員会構成等で随時開催した。

(2) 編集委員会

「建築と社会」3月号（東海支部特集号）作成に向け関係者と打合せを適宜実施した。

(3) 広報委員会

「東海の建築」第93号を12月に発行するために準備を行った。

(4) 事業委員会

3/13(金)見学会(京都・大阪)を開催した。
次年度開催の海外視察の打合せを適宜実施した。

(5) 研修委員会

支部建築工事实務講習会の講師検討・手配打合せ(Web併用)を開催した。
会員交流ゴルフコンペを春・秋に2回開催した。
8月27日(水)に青年技術者顕彰者交流会・懇親会を開催した。

(6) 青年委員会

若手による支部活動の活性化を図っている。
65周年事業企画の検討・打合せを行った。

◎事業の執行状況

1. 講演会の開催

支部総会後に講演会を1回開催した。(会場・WEBのハイブリッド開催)

開催月日	タイトル等	講師	参加者
5月29日(木)	フランス文学における建築の表象 ラブレールからヴァレリーまで	田上 竜也 学習院大学文学部教授	31名

2. 支部機関紙「東海の建築」の発行事業

「東海の建築」第93号を12月に発行。

3. 「建築と社会」3月号東海支部特集号の編集

作品作風14作品、Tokai Sketch Book4作品、東海の建築は「居心地」をテーマに5作品を掲載し、特集は「東海の建築と社会 新しいミカタ」として以下の内容で取りまとめを行った。

特集Ⅰ 青年委員

特集Ⅱ インタビュー

特集Ⅲ 建築がつなぐ都市、地域、まちの記憶 第9回

4. 建築工事实務講習会の開催

1月14日(水)に開催した。(施工計画・仮設見積・積算業務 参加者65名)

5. 見学会の実施

3月13日(金)～14日(土)に開催。「京都大阪間の新しい文化施設と歴史的建築物を巡る」

6. 支部主催定期研修会の実施

団体会員のショールーム見学会・商品説明会を開催

(小松ウオール工業(株)、アイカ工業(株)、(株)イトーキ)

7. 青年技術者顕彰者交流会の開催

8月27日(水)に第72回の青年技術者顕彰者(東海支部エリア在籍)を招いた交流会を開催した。

8. 納マリ倶楽部(青年交流会)

8月27日(水)の青年技術者顕彰者交流会にメンバーの一部が参加した。

9. 建築関係団体との交流、連携

(1) 建築八団体との連携

・愛知建築士会、愛知県建築士事務所協会、日本建築家協会東海支部愛知地域会、日本建築学会東海支部、日本建築構造技術者協会中部支部、日本積算協会東海北陸支部、愛知県設備設計監理協会、日本建築協会東海支部からなる連絡協議会(建築八団体連絡会)に参加した。

・8月4日(月)に開催した名古屋市との懇談会および10月6日(月)に開催した「名古屋市長を囲む会」の調整運営を行った。

(2) 中部建築賞協議会への協力

・中部建築賞を運営。監事として監査を実施した。